

早稲田大学 基幹/創造/先進理工学部 英語 講評

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	大問は昨年同様で、分量的にもほぼ変わらずであった。ただ、レベルは例年よりかなり易化した印象だ。理工学部らしく、数学や論理学などをテーマにしたものが頻出。英文の内容は相変わらずかなり難しい。設問も論理的思考能力を問うている。単語定義・熟語、会話文問題は単語や熟語などを選ばせるのではなく、アルファベットに相当する数字に変換しなければならない問題。受験する側にとっては面倒だが、理工学部には意図があるのだろう。受験生として少しでも慣れておくといい。試験時間については、他の学部もそうだが、時間内で終わらせるのは並大抵ではない。国際教養学部や法学部も大変だが、問題量と読解問題の内容の抽象性を加味すると、早稲田の中で最も難しい問題の一つと言えよう。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	長文読解問題	分量は昨年より増えているが、難易度は昨年より下がった印象だ。英文も例年に比べると読みやすく、設問も例年に比べると紛れは少なかったと思われる。下線部の意味を問うもの、空所補充などが問われる一方、段落間の関係、本文で言及されている理論に共通する内容を問う設問と多岐にわたっている。受験生の論理力を問うものが中心。また、一つの文章で成り立っているのではなく、3つのTextから成り立っているのも理工学部の特徴だ。それが設問でつながっているのだ。とにかく、論理的に推論させることを意識しているのは確かである。ただ、例年に比べると入試問題としてはかなり難問であり、正解を出すのはなかなか難しいのは確かだ。	やや難
II	語整序問題	レベルは昨年並みかやや易化した。英文のテーマは例年通り理工学部らしいものであった。数年前の語整序問題は恐ろしいほど難しかったが、最近のものは無理のない問題だと言える。理工学部のこの整序問題は、選択肢に接続詞や関係詞が含まれ、節の意識が重要である印象がある。選択肢の前後との構造を把握することが重要となりそうだ。また、整序問題は解けないと焦ってしまう。わからない問題はそのままにして先に進めるくらいの気持ちで臨むといいと思われる。	標準
III	語補充問題, 文整序問題	Section A は文章の中の語補充問題と下線部を特定する問題、Section B は文整序問題。どちらも昨年よりやや易化した印象だ。 Section A ここは理工学部の中ではIIの語整序問題と並び比較的楽な問題。a や the、you などの人称代名詞、接続詞、動詞の変化などが頻出だ。 Section B 文整序問題は4つや5つの文を並べた後に、その並べたものが他の選択肢とどう並ぶかを問う2段階になっている。理工学部特有の問題だ。例年は難しい専門用語のオンパレードで内容を正確に把握するのは非常に大変だったが、今回はそれほどではなかった。年々やさしくなっている印象だ。[B]を先に解いて、その後に[A]をやるのも一つの手だ。全体の中で[A]がどの位置にあるかわからないと、意外と[A]が But など始まることもある。当然、代名詞や接続詞は重要だが、a～tale を the story で書き換えるなどの流れを押させることも重要。	標準 やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
IV	読解問題	<p>レベルは昨年並み。どちらも読解問題。</p> <p>Section A 多少数学の思考を必要とする問題。文系人間は拒否反応を示すであろうが、理系の受験生にはそれほど難しくはないようだ。最初の前提さえしっかり理解できれば、あとはそれにしたがって解く問題。ただ、たとえば AND ではなく OR がプラス記号というのは違和感があるが...</p> <p>Section B こちらも数学的な要素が多少入っている問題。グラフも含まれるが、基本的には足し算や引き算で事足りる。ここは前提となる英文が長く焦る中でもしっかりどのような計算をすればいいかが判断できればどうにかなるであろう。</p>	<p>標準</p> <p>標準</p>
V	単語定義・熟語、 会話文問題	<p>昨年並みのレベルか。</p> <p>Section A 単語定義問題は難しい単語は狙われない。ただ、ひらめくのはなかなか大変なので、日ごろから単語をアウトプットする訓練が必要だ。今年度は evidence、ceremony、lecture、interpret、obtain が空所に入る単語であった。</p> <p>Section B 例年は難熟語がポイントであったが、今年度は1文から成る表現がポイント。ここは半分程度しか取れなくてもよさそうだ。ちなみに、今年度は If you don' t mind、I' d better be going.、Give me a break. などが正解。来年度は熟語に戻るかどうか？</p> <p>Section C 会話文問題の中の語彙問題。答えを見れば何でもないが、いざ自分で出せるかといえなかなか大変だろう。I' d like to ask you a few things about ~「～についてあなたにいくつか質問したいのですが」の things は questions を考えてしまって、なかなか things が出てこない。とにかく V はアウトプット勝負の大問だ。</p>	<p>標準</p> <p>やや難</p> <p>やや易</p>